

Q 4 7 浸水しないので自宅の最上階に避難しようと思います。どんな問題が発生しますか。

A 4 7 浸水継続時間が長い場所にお住まいの方が垂直避難する場合、安全が確保されるまでの水や食料、薬の備蓄のほかに、生活環境が悪化するリスクがあることについても理解しておきましょう。

例えば、電気、ガス、水道、トイレなどのライフラインが使えずに長期間孤立することで、簡易トイレが汚物で一杯になることや、エアコンや冷蔵庫が使えなくなり熱中症や食中毒などの病気にかかることなど、生活環境が悪化するリスクが高くなります。

浸水継続時間については、Q 3 0 「浸水継続時間とは何ですか。」で確認しましょう。

浸水継続時間が長い場所で起こる生活環境の悪化の例

備蓄していた水や食料等が底をつく

断水によりトイレなどが使用できず簡易トイレが汚物で一杯になり、衛生環境が悪化する
病人が出た場合に対応が難しくなる

定期的な診療が必要な人が適切な診療を受けられなくなる

停電によりエアコンが止まり熱中症にかかる

停電によりテレビや電話、ラジオが使えず、情報が得られなくなる

エレベータが止まり、階段での移動を余儀なくされる



図 自宅にとどまった場合の生活環境の悪化説明例

出典：国土交通省「洪水ハザードマップ作成の手引き」平成28年（P 71～72）